

第 3 学年 Unit 4 「I like blue. すきなものをつたえよう」

1. 単元目標

- ・多様な考え方があることや、外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分の好みを伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

○ I like (blue). I don't like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't.

○ 色 (blue, red, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown)

スポーツ (soccer, tennis, baseball, basketball, dodgeball, swimming)

飲食物 (ice cream, pudding, milk, orange juice)

野菜 (onion, green pepper, cucumber, carrot), rainbow

3. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

4. 単元計画 (4 時間)

時	目標(◆)と主な活動【 】, ○)※【】=誌面化されている活動	◎評価<方法>
1	<p>◆多様な考え方があることに気付くとともに、色の言い方に慣れ親しみ、好きなものを表す表現を知る。</p> <p>○ Hello Song 【Activity】自分のにじをかこう「My Rainbow」 ・誌面に好きな色を塗り、自分の虹を完成させる。</p> <p>【Let's Watch and Think①】 ・映像資料を視聴し、世界の子供たちの描く虹の絵を見て、それぞれの違いに気付く。</p> <p>○ シャッフル・ゲーム</p> <p>○好きな色を教えて ・指導者が、自分の好きな色を挙げるなどして児童にも発話を促し、好きなものを表す表現に出合わせる。</p> <p>【Let's Listen①】 ・誰が何色を好きか聞いて線で結ぶ。</p> <p>【Let's Chant】 I like blue. (①色編)</p> <p>○ Goodbye Song</p>	<p>◎多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>◎色を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

2	<p>◆外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付くとともに、好みを表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>○Hello Song 【Let's Sing】 The Rainbow Song ○カラー・タッチ・ゲーム ○先生の好きなものとそうでないものを知ろう ・指導者は自身の好きなものとそうでないものについて話し、児童が I [like / don't like] ~. の意味を分かるようにする。 【Let's Listen②】 ・音声を聞いて登場人物の好きなスポーツや、そうでないスポーツの番号を書く。 ○Who am I? クイズ ・好きなものとそうでないものをヒントとして聞かせ、校内の先生の誰かを当てさせる。 【Let's Chant】 I like blue. (②スポーツ編) ○カード・デスティニー・ゲーム ○Goodbye Song</p>	<p>◎英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。〈行動観察、振り返りカード点検〉</p> <p>◎好みを表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察、振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ自分の好みを伝え合う。</p> <p>○Hello Song 【Let's Sing】 The Rainbow Song 【Let's Listen③】 ・色やスポーツ、食べ物についての会話を聞いて、登場人物の好きなものを○で囲む。 【Let's Watch and Think②】 ・登場人物の好みを予想して誌面に○か△を記入し、Do you like ~? などと全員で尋ね、回答を聞き、予想と合っているかどうか確認する。 ○「○×クイズ」 （友達の好き嫌いについて） 【Let's Chant】 I like blue. (③質問編) 【Let's Play】 ・ペアになり、誌面の表に書かれているものなどについて好きかどうかを予想して尋ね合う。 ○Goodbye Song</p>	<p>◎好きかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎自分の好みを伝え合っている。〈行動観察・ワークシート・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。</p> <p>○Hello Song 【Let's Sing】 The Rainbow Song 【Let's Chant】 I like blue. (①～③) 【Activity】 ・自己紹介シートを作成し、自分の好みを交えて自己紹介をし合う。 ○Goodbye Song</p>	<p>◎相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介している。〈行動観察、ワークシート・振り返りカード点検〉</p>

第 3 学年 Unit 4 I like blue すきなものをつたえよう 1/4 時間

目 標 多様な考え方があることに気付くとともに、色の言い方に慣れ親しみ、好きなものを表す表現を知る。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用絵カード（色）、色鉛筆、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者（T）の活動と使用英語例 ◎評価〈方法〉	準備物
2 分	挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	
2 分	○Hello Song	・児童と一緒に歌う。	デジ タル 教材
10 分	○自分のにじをかこ う「My rainbow」 ・誌面の虹を自由に塗 り、自分の虹を完成させ る。	・What's this?クイズをしたり、誌面を指し What's this? などと尋ねながら、「虹」という児童のつぶやきを拾ったりして、“rainbow”の言葉を導入する。虹を見た時の様子等についても簡単に尋ねる。 ・自由に色を塗り、虹を完成させることを告げる。 T: Look at your book. Please color the rainbow. Please make your original rainbow. ・塗った色や順などを尋ね、色の言い方を何度も聞かせ、慣れ親しませるようにする。	絵（色） カード、 テキ スト、 色鉛 筆 など
5 分	【Let's Watch and Think①】 ・映像資料で、世界の子供たちが虹を描く様子などを視聴し自分たちの作品との違いや共通点に気付く。	・海外ではどんな虹が見えるかなど、児童の興味・関心を高めながら映像資料の視聴につなげ、自分たちの作品との違いや共通点に気付くよう言葉かけをする。 T: Please watch the video. What colors can you see in the rainbow? Are they beautiful? ・どのような色で描かれているかを児童と確認することを通して、児童に色の言い方を繰り返し聞かせたり言わせたりして、色の言い方に慣れ親しませるようにする。 ◎多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	色カ ード、 テキ スト、 デジ タル 教材
6 分	○シャッフル・ゲーム ・指導者とともに色を確認する。 ・指導者が指したカードが何色か当てる。	・シャッフル・ゲームをすることを告げる。 ・児童が描いた虹の色の中から 4 枚程度を黒板に貼りながら、カードの色を児童と確認する。 ・再度児童と色を言いながら、順に色カードを裏返す。児童に入れ替えた順が分かるように 2, 3 回入れ替える。1 枚のカードを指し、What color? と児童に尋ねる。児童の答えに応じて、カードを表に返し、色を確認する。この活動を通して、児童に何度も色の言い方を聞かせたり、言わせたりして、慣れ親しませるようにする。 T: Let's play the Shuffle Game. Look at the board. This is ...? Yes, this is pink. This is ...? Right. This is blue. Watch the cards carefully. What color is this? ◎色を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	色カ ード
5 分	○好きな色を教えて ・指導者の話を聞いて、好きなものを表す表現	・黒板に他の色も加え、言い方を確認する。 ・自身の洋服などの色を指し示しながら、What color is this? I like ~. と好きな色を言い、好きなものを表す表現に出合わせる。	色カ ード

	を知る。 ・指導者の質問などに 応じて、色を言う。	黒板の色カードを差しながら児童に I like ~. Yes? No? など と投げかけ、発話を促す。児童の答えに応じて、児童を指して You like ~. 自身を指して I like ~. と何度も繰り返して言い、児童に I like ~. You like ~. の表現を何度も聞かせるようにする。	
4 分	【Let's Listen①】 ・誰が何色を好きかを聞 いて線で結ぶ。	・何色が好きか予想させ、それを確かめるために音声を聞かせるよ うにする。	デジ タル 教材
4 分	【Let's Chant】 I like blue. (色編)	・児童と一緒に言う。	デジ タル 教材
5 分	・本時の活動を振り返 り、振り返りカードに記 入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛す る。	振 り 返 り カ ー ド
2 分	○Goodbye Song ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジ タル 教材

第 3 学年 Unit 4 I like blue すきなものをつたえよう 2/4 時間
目 標 外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付くとともに、好みを表す表現に慣れ親しむ。
準 備 デジタル教材，児童用テキスト，教師用絵カード（色・スポーツ），児童用小カード（色，スポーツ），菓子箱などの具体物，写真（校長先生など校内の教職員等），振り返りカード

時間	児童の活動	指導者（T）の活動と使用英語例 ◎評価（方法）	準備物
2 分	挨拶をする。	・全体に挨拶をして，個別にも挨拶をする。個別に挨拶をすることを通して，児童に一人でも英語で挨拶が言えたと成就感を持たせるようにする。	
3 分	○Hello Song 【Let's Sing】 The Rainbow Song	・児童と一緒に歌う。	デジ タル 教材
6 分	○カラー・タッチ・ゲーム ・指導者が言った色をタッチする。 ・慣れてきたら代表の児童が指導者役を行う。	・Touch something [blue / red / brown]. などと言って，周囲にある色をタッチする。児童も色を探してタッチするよう促す。これを数回繰り返し，児童に色の言い方を思い出させるようにする。その際，黒板に色カードを貼っていく。 T: Where is 'blue'? Oh, your T-shirt is blue. ・児童が慣れてきたら，指導者はテンポよく Touch something ~! と言い，児童に色の言い方を十分聞かせるようにする。また，児童に指導者役をさせる。	色カ ード
6 分	○先生の好きなものとそうでないものを知ろう ・指導者の好きなもの，そうではないものについての話を聞く。	・児童の好きそうなお菓子や，キャラクターのイラストなどを示しながら，自身の好きなもの，嫌いなものを I [like / don't like] ~. を使って紹介する。その際，一方的に紹介するのではなく，児童に Do you like ~? と尋ねたり，その答えに応じて You [like / don't like] ~. と返したりして，第 3 時につながるようにする。	菓 子 箱 な ど の 具 体 物
	<p><活動の手順></p> <p>黒板にハート(like を表す)と割れたハート(don't like)を描き，色カードや菓子箱，包装紙等を見せ，児童に Do you like ~? と尋ね，Yes? No? などとジェスチャーで示しながら手を挙げさせる。次に指導者は，それについて I [like / don't like] ~. とジェスチャーを付けて言い，児童に好きかどうかを予想させる(手を挙げさせてもよい)。最後に，ジェスチャーを交え，I [like / don't like] ~. と正解を言って，ハートや割れたハートの下に，それを表すカード等を貼る。アニメキャラクターなどについても同様にし，I [like / don't like] ~. の表現に出合わせ，その意味を理解させるようにする。</p>		
6 分	【Let's Listen②】 ・音声を聞き，登場人物の，好きなスポーツとそうでないスポーツの番号を書く。	・登場人物の好きなスポーツやそうでないスポーツを聞いて番号を書かせる。その際，いきなり音声を聞かせて，活動させるのではなく，音声を聞かせる前に，登場人物の好みを予想させ，自身の予想が合っているかを確かめるために音声を聞くというような場面設定をする。	テ キ ス ト ， デ ジ タ ル 教 材 ， 絵 カ ード (ス

		<p>T: Look at your book. This is 'soccer'. Do you like soccer? This is baseball. Do you like baseball? Yes? Good. Please listen.</p> <p>・スポーツの言い方を再度聞かせ、児童に繰り返させながら、音声の違い等に気付かせるようにする。児童に繰り返させる際には、指導者も一緒に言い、語のイントネーションを手の上下で示すなどして、音声だけではその特徴をつかみにくい児童も音声の違いに気付きやすいようにする。</p> <p>◎英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。 〈行動観察、振り返りカード点検〉</p>	<p>ポーツ) 児童用 テキスト</p>
7 分	<p>○Who am I? クイズ</p> <p>・ヒントを聞いて誰かを当てる。</p>	<p>・Who am I? クイズをすることを告げる。校長先生や教職員の写真を黒板に貼りながら、それが誰かを確認する。</p> <p>・校内のある先生になりきって、I like ～. と I don't like ～. (色, スポーツ等) を使って好きなもの嫌いなものを言い、それが誰かを尋ねる。</p>	<p>写真(校 長先生 や校内 の教職 員等), 絵カード (色, ス ポーツ)</p>
3 分	<p>【Let's Chant】 I like soccer. (②スポーツ編)</p>	<p>・児童と一緒に言う。</p>	<p>デジタル 教材</p>
6 分	<p>○カードデスティニー・ゲーム</p>	<p>・カードデスティニー・ゲームをすることを告げる。</p> <p>T: Let's play the Card Destiny Game. Are you ready? The first card is "red"! Who has the 'red' card? Please say, 'I like red' or 'I don't like red.' And put the 'red' card down on your desk.</p>	<p>児童用 小カード (色, ス ポーツ)</p>
	<p><活動の手順></p> <p>2 人組で行う。色とスポーツの絵カード 10～12 枚を 2 人で適当に分けて持つ。指導者も同じカードを持ち、その中から 1 枚引いて、"Soccer!" 等と言う。言われたカードを持っている児童は、I [like / don't like] ～. と自分の気持ちを言いながらカードを机に置く。手持ちのカードがなくなったら上がり。</p>		
		<p>◎好みを表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察、振り返りカード点検〉</p>	
5 分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>	<p>振り返り カード</p>
2 分	<p>○Goodbye Song</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>デジタル 教材</p>

第 3 学年 Unit 4 I like blue すきなものをつたえよう 3/4 時間

目 標 好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ自分の好みを伝え合う。

準 備 デジタル教材，児童用テキスト，教師用絵カード（色，スポーツ，飲食物，野菜），振り
返りカード

時間	児童の活動	指導者（T）の活動と使用英語例 ◎評価〈方法〉	準備物
2 分	挨拶をする。	・全体に挨拶をして，個別にも挨拶をする。	
3 分	○Hello Song 【Let's Sing】 The Rainbow Song	・児童と一緒に歌う。	デジタル 教材
7 分	【Let's Listen③】 ・会話を聞いて，登場人物の 好きなものを○で囲む。	・【Let's Listen】で扱われている色，スポーツ，食べ物の絵カ ードを見せながら，それが好きか嫌いかを言い，児童にそれが 好きかを尋ねる。児童に Yes? / No? とさらに尋ね，児童の答 えに応じて，黒板に描いたハート，割れたハートの下にその絵 カードを貼っていく。この活動を通して，Do you like ~? が 好みを尋ねていることを分からせるようにする。さらに，数名の 児童に Do you like ~? と絵カードを見せながら尋ね，理解 を深めて【Let's Listen】につなげる。 ・登場人物が好みを尋ね合う会話を聞いて誌面の表に○を 記入する。（色，スポーツ，食べ物） T: Let's listen. And please write a circle in the box.	デジタル 教材，絵 カード （色，ス ポーツ， 飲食物， 野菜） 児童用 テキスト
7 分	【Let's Watch and Think】 ・登場人物が好きかどうかを予 想して○や△を記入し，Do you like ~? と尋ねる。	・スポーツ，食べ物等の英語を言いながら（デジタル教材を聞 かせてもよい）その絵カードを黒板に貼る。その際，児童に一 緒に言うように促したり，児童の絵カードの一部を見せてそれ が何かを尋ねたりしながら貼るとよい。 T: What's this? A carrot? That's right. ・登場人物の好みを予想して誌面の表に○や△を記入する。 画面に出ている登場人物に向かって，好きかどうかを全員で 尋ね，自身の予想と合っているかどうかを確認させる。この活 動を通して，Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. の 表現に慣れ親しませるようにする。 T: Let's ask together. Do you like ~?	デジタル 教材，絵 カード （色，ス ポーツ， 飲食物， 野菜）
10 分	○ ○×クイズ ・友達に好き嫌いを尋ねる。	・代表の児童(S1)を前に出す。前の活動で使用した絵カード 等を使い，何について尋ねるかを S1 以外の児童と相談して 決め，好みを予想する(○×を手で示すなどしてもよい)。その 後，全員で Do you like ~? と代表の児童(S1)に尋ね，予 想と合っているかどうかを確認させる。 T: Please guess if S1 likes blue or not. Everyone, let's ask S1 together. ◎好きかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り 返りカード点検〉	絵カード （色，ス ポーツ， 食べ物， 野菜）
2 分	【Let's Chant】 I like blue. (②質問編)	・児童と一緒に言う，	デジタル 教材

7 分	【Let's Play】 ・友達の好き嫌いを予想してインタビューする。	・ペアになり、誌面の表に描かれている色やスポーツなどについて、好き嫌いを予想して○×を書かせる。 ・互いに尋ね合い、予想と合っているか確認させる。 T: Please make pairs. Please guess if your partner likes this or not. Please write a circle or a cross in the box. Please ask each other. ◎自分の好みを伝え合っている。〈行動観察、振り返りカード点検〉	テキスト
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2 分	○ Goodbye Song ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

第 3 学年 Unit 4 I like blue すきなものをつたえよう 4/4 時間

目 標 相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。

準 備 デジタル教材，児童用テキスト，ワークシート，教師用絵カード（色，スポーツ，飲食物，野菜），色鉛筆，振り返りカード

時間	児童の活動	指導者（T）の活動と使用英語例 ◎評価〈方法〉	準備物
2 分	挨拶をする。	・全体に挨拶をする。	
3 分	○Hello Song 【Let's Sing】 The Rainbow Song	・児童と一緒に歌う。	デジ タル 教材
2 分	【Let's Chant】 I like blue. (①～③)	・児童と一緒に言う。	デジ タル 教材
8 分	【Activity】 ○自己紹介シートを作成する。	・好きなものや好きでないものを絵や言葉で表して，児童一人一人に自己紹介シートを作成させる。 What do you like? What color do you like? Please draw your favorite things on your worksheet.	ワー クシ ート (ま たは テ キ ス ト)， 色鉛 筆
23 分	○自分の好みを交えて自己紹介をし合う Hello. I'm ~. I like ~. / I don't like ~. (Do you like ~?) Thank you.	・4, 5 人のグループを作り，一人ずつ自己紹介する。(学級の人数や実態に応じて形態を変える) T: Please make groups of four or five. Please make a speech about yourself. I'm ~. I like ~. I don't like ~. Thank you. OK? ・途中で中間評価を行うなどして，活動がねらいにそったものとなるようにする。 ・代表者数名に全体の前で発表させる。 ◎相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介している。〈行動観察，振り返りカード点検〉	デジ タル 教 材， 絵 カ ー ド (色， ス ポ ー ツ， 飲 食 物， 野 菜) ワー クシ ート
5 分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り 返り カ ー ド
2 分	○Goodbye Song ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジ タル 教 材

第 4 学年 Unit 8 This is my favorite place. お気に入りの場所を紹介しよう

1. 単元目標

- ・世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の使い方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について自分の考えなどを伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について、自分の考えも含めて伝えようとする。(学びに向かう態度、人間性等)

2. 言語材料

○Go straight. Turn [right / left]. Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).

○favorite, place, my, our, why, school, science, music, cooking, arts and crafts, gym, playground, school nurse's office, principal's office, entrance, library, teachers' office, school office, classroom, computer room, girls' room, boys' room, straight, teacher, boy, girl

(既習表現・語彙 This is for you. I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. turn, right, left, スポーツ, 曜日)

3. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
話すこと (発表)	

4. 単元計画（4 時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○）※【 】＝誌面化されている活動	◎評価＜方法＞
1	<p>◆教室名の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○「どこの教室かな」</p> <p>・指導者はあらかじめ校内の教室、特別教室の写真を撮っておき、児童が写真の一部を見見て、それが何の教室かを考えて発表する。</p> <p>○学校の中を案内する仕方について聞く。</p> <p>○「キーワード・ゲーム」</p> <p>・教室名を用いて、キーワード・ゲームを行う。</p> <p>【Let's Listen 1】「どこの教室かな 2」</p> <p>・テキストの登場人物が自分の好きな校内スポットを言うのを聞いて、登場人物と教室のイラストを線で結ぶ。</p> <p>【Let's Chant】“School Chant”</p>	◎世界には様々な学校生活があることを知り、学校の中にある教室の言い方を理解している。〈行動観察〉
2	◆世界には様々な学校生活があることを知るとともに、教室の言い方や道案内の仕方に慣れ親しむ。	

	<p>【Let's Chant】“School Chant”</p> <p>【Let's Play】「ポインティング・ゲーム（教室名）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が出す教室についてのヒントを頼りに、それがどの教室かを考えて児童が発表する。 <p>【Let's Watch and Think 1】</p> <p>「どこの教室かな3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介に関する映像資料を視聴し、どこの場所や部屋のことを言っているのかを聞き取り、メモする。（映像をヒントに音声を聞かせるのみで発話までは求めない。） ※アメリカの子どもが自分の学校の中の好きな場所を案内し、紹介している映像。 <p>【Let's Listen 2】「どこの教室かな4」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面にある校内地図をみながら、道案内の音声を聞いて、どこの教室かを考えて発表する。 	<p>◎教師が言う英語を聞いてその教室を指し示したり、教室の言い方を理解している。〈行動観察〉</p> <p>◎いくつかの情報から判断して、それがどこの場所や教室を指しているのかがわかる。〈発表観察〉</p> <p>◎校内地図を見ながら道案内の音声を聞いて、知っている語彙や表現を手掛かりにどこの教室かわかる。〈行動観察〉</p>
3	<p>◆道案内の仕方に慣れ親しみ、自分の好きな校内スポットを言って、学校を紹介しようとする。</p> <p>【Let's Chant】“School Chant”</p> <p>○教室についてのヒントを頼りに、どの教室かを考えて発表する。</p> <p>「どこの教室かな5」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の仕方や好きな場所に対する様々な理由の言い方を知り、慣れ親しむ。 <p>【Let's Play】</p> <p>「学校内の好きな場所について伝えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内の好きな場所を伝え合い、教室ごとに友達の名前を書く。 <p>【Let's Watch and Think 2】</p> <p>「道案内の仕方について聞いてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を再度視聴し、道案内の仕方を知る。 ・世界の国の子ども達が、自分の学校の中の好きな場所とその理由を言って紹介している映像。 <p>○校内で人気の場所について調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達がどんな理由で、その場所が好きだといっているのかについて調べる。 	<p>◎英語のヒントをたよりに、どこの教室のことをいっているのかわかる。〈行動観察〉</p> <p>◎自分の好きな場所を言ったり友達の好きな場所を聞いて書きとめたりして、それぞれの場所の良さを紹介しようとしている。〈ワークシート〉</p> <p>◎学級の中で学校内の好きな場所について尋ね合っている。〈行動観察〉</p>
4	<p>◆他者に配慮しながら、道案内をしたり好きな校内スポットを紹介しようとする。</p> <p>【Let's Chant】“School Chant”</p> <p>【Let's Watch and Think 2】</p> <p>「どこの国の学校かな6」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場所とその理由についての表現を知る。 ・第3時で視聴した映像資料を再度視聴し、校内の場所や教室への行き方を皆で確認する。 <p>【Activity】</p> <p>お気に入りのスポットを紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、学級の友達の好きな場所とその理由を伝え合う。 	<p>◎友達と自分の学校で好きな場所へ案内したり、なぜそう思うのかを伝え合おうとする。〈行動観察・発表観察〉</p>

第 4 学年 Unit 8 This is my favorite place. お気に入りの場所を紹介しよう 1/4 時間

目 標 教室名の言い方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト、教師用絵カード、写真(校内教室等の写真)、校内拡大地図、ワークシート、デジタル教材、
振り返りカード

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
15 分	○「どこの教室かな 1」	・あらかじめ、校内の教室、特別教師の写真を撮っておき、写真の一部を見せそれが何の教室かを考え発表させる。 ・児童の回答に応じて、英語での教室名の言い方を紹介する。 ・絵カードや、実物の写真を見せながら、校内の好きなスポットについて話し、児童に本単元の見通しをもたせる。	写真
10 分	○学校の中を案内する仕方を 知る。	・先に紹介した校内の好きなスポットへの行き方を紹介し、児童の道案内の仕方に出合わせる。 ・児童の実態に応じて、ほかの教室への行き方も提示するとよい。 ・また、教室名等の校内の場所を紹介しつつ、そこが好きかどうかを児童とやり取りし、一方的な紹介にならないようにする。	校内拡大 地図
5 分	○「キーワード・ゲーム」 ・教室名を使用して、キーワード・ ゲームを行う。	・教室名の言い方を繰り返し聞いたり、言わせたりして、それらの語彙に慣れ親しませるようにする。 ・このねらいのために、リズムよく指導者は教室名を繰り返し言ったり、児童に聞くことに集中させるために、わざと小さな声で言ったり、突然大きな声で言ったりするとよい。	教師用絵 カード
10 分	【Let's Listen 1】「地図を見ながら どこの教室か考えよう。」 p. 30 ・テキストの登場人物が自分の好 きな校内スポットを言う音声を聞 いて、それが誌面校内地図のどの 教室かを考えて発表する。	・活動に入る前に、誌面にある校内地図の教室が何かを確認する。 ・音声では、登場人物が好きな校内スポットとともに、その理由を言っていることに注目させる。このことが、本単元終末に設定されている活動につながる。 ◎教室名の言い方を聞いている。(行動観察)	児童用テ キスト、 デジタル 教材
5 分	【Let's Chant】“School Chant” ・音声教材を聞いて一緒に言う。	・まず、音声教材を聞かせ、どのような教室名が出てきたかを尋ねる。そして、次に、一緒に言う。 ・指導者が英語らしいリズムや音声に気を付けてリードする。また、デジタル教材を活用し、児童に英語らしいリズムを意識させるとよい。	デジタル 教材
	ビートに合わせて教室の場所の言い方を確認する。 School Chant This is our classroom. This is our science room. This is our music room. Come in, come in, let's have fun. This is our playground. This is our lunchroom. This is our gym. Come in, come in, let's have fun.		
4 分	・本時の活動を振り返る。振り返り カードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛 する。 ・挨拶をする。	振り返り カード点 検

第4学年 Unit 8 This is my favorite place. お気に入りの場所を紹介しよう 2/4時間

目標 世界には様々な学校生活があることを知るとともに、教室についてまとまった話を聞いて内容が分かる。

準備 教師用絵カード(教室)、ワークシート、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
5分	【Let's Chant】“School Chant” ・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。	・音声教材を聞かせ、聞こえてくる順に黒板に教師用カードを貼りながら一緒に言う。 ・児童が慣れてきたら、児童の求めに応じて教室名を替えるとよい。	教師用絵カード (教室)
10分	【Let's Play】 p. 30-31 「ポインティング・ゲーム」(教室名) ・指導者がランダムに言う教室名を指さしながら言う。	・活動に入る前に、誌面の教室が何かを再度確認するとよい。 ・このゲームのねらいは、児童に繰り返し教室名の言い方を聞かせることである。よって、指導者は繰り返し教室名を言うようにする。 ・児童に My favorite place is ~. の表現に慣れ親しませるために、指導者は教室名だけでなく、文で言うるとよい。 ◎教室名を聞いてその教室を指したり、教室の言い方を聞いている。(行動観察)	児童用テキスト、 教師用絵カード(教室)
10分	【Let's Watch and Think 1】 p. 31 「どこの教室かな3」 ・学校紹介に関する映像資料を視聴し、どこの部屋や場所のことを言っているのかを聞き取り、メモする。 ・日本の学校との差異に気付き発表する。	・外国語の子供や教員が自校を紹介している映像資料を視聴し、自校の環境との違いから、世界には様々な考え方があることに気付かせることがねらいである。 ・一方的に視聴させるのではなく、児童の反応に応じて、映像資料を止めて、学校の様子について児童とやり取りをしたり、確認をしたりするとよい。 ・映像をヒントに音声を聞かせるのみで、発話までは求めない。	児童用テキスト、 デジタル教材
5分	【Let's Listen 2】「話を聞いて、あてはまる教室を線で結ぼう。」 p. 32 ・音声を聞いて、登場人物のお気に入りの場所を聞き取り、登場人物と教室の絵を線で結ぶ。	・テキストの登場人物が自分の好きな校内スポットを理由とともに言うのを聞いて、登場人物と教室の絵を線で結ぶ。 ・本活動では、登場人物が好きな校内スポットとともにその理由を言っていることに注目させる。単元終末で児童がお気に入りの校内スポットを紹介し、その理由を言う活動につながる。 ◎教室についてまとまった話を聞いて登場人物と教室を線で結んでいる。(行動観察)	児童用テキスト、 デジタル教材
4分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード点検

第 4 学年 Unit 8 This is my favorite place. お気に入りの場所を紹介しよう 3/4 時間

目 標 道案内の仕方に慣れ親しみ、自分の好きな校内スポットを言って、学校を紹介しようとする。

準 備 児童用テキスト、教師用絵カード、ワークシート、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
5 分	【Let's Chant】“School Chant” ・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。	・音声教材を聞かせ、聞こえてくる順に黒板に貼られた教師用カードを指し示しながら一緒に言う。 ・教師が英語らしいリズムや音声に気を付けてリードする。	教師用絵カード (教室)
10 分	○「どこの教室かな 5」 ・指導者が見せる校内の教室、特別教室の写真について英語でのヒントをたよりに、それがその教室かを考えて発表する。 ・道案内の仕方や好きな場所に対する様々な理由の言い方に慣れ親しむ。	・指導者が、校内のある教室や場所について、その場所にあるものやできることなどのヒントを出し、児童にそれがどこの場所なのかを考え、発表させる。 ◎英語を聞いて、どの場所のことか分かる。〈行動観察〉	教師用絵カードや写真(教室)
5 分	【Let's Play 2】「学校内の好きな場所を伝え合い、口に友だちの名前を書こう。」 p. 33 学校内の好きな場所について伝え合う。 ・友達の名前を、誌面□に書く。	・教師が使った語彙や英語表現をヒントに、自分達で校内で好きな場所について友達と伝え合う。 期待される発話例 : My favorite place is playground. I play baseball.あるいは, I like playground. I play dodgeball.	デジタル教材
10 分	【Let's Watch and Think 2】 p. 32 「学校の様子を見て、気づいたことを書こう。」 ・子ども達が自分の学校の中の好きな場所とその理由を言って紹介する。	・映像資料を視聴し、それがどこの教室のことか考えて発表する。また、日本の学校との違いなどへの気づきを、誌面に記入させる。 ・映像をヒントに音声を聞かせるのみで、発話までは求めない。	児童用テキスト デジタル教材
15 分	【Activity】「ペアで好きな場所をしようかいし、その理由について知ろう。」 ・クラス内中を歩き、出会った友達と自分の好きな校内の場所について伝え合う。また、学級でどんな場所が人気があるかについて発表する。 ・人気の場所や教室への行き方を皆で確認する。	・校内のお気に入りの場所について、誌面に自分の好きな場所、その理由を記入し、隣や前後の友達とペアになって伝え合う。 ◎自分の好きな場所を言ったり友達の好きな場所を聞いて書きとめたりして、それぞれの場所の良さを紹介しようとしている。〈テキスト点検〉	児童用テキスト、ワークシート
4 分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード 点検

第4学年 Unit 8 This is my favorite place. お気に入りの場所を紹介しよう 4/4時間

目 標 他者に配慮しながら、校舎案内をしたり好きな校内スポットを紹介したりしようとする。

準 備 児童用テキスト、教師用絵カード、ワークシート、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	【Let's Chant】“School Chant” ・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。	・音声教材を聞かせ、聞こえてくる順に自分のテキストの絵を指し示しながら一緒に言う。 ・教師が英語らしいリズムや音声に気を付けてリードする。	教師用絵カード (教室)
10分	【Let's Watch and Think 2】 p. 32 「学校の様子を見て、気づいたことを書こう。」 ・第3時に視聴した映像資料を再度視聴し、お気に入りのスポットの言い方を確認する。	・全体やグループで、学校案内の表現や仕方を確認する。	デジタル教材
20分	○「お気に入りのスポットを紹介しよう。」 ・ペアになり、自身のお気に入りの場所について紹介し合う ・お気に入りの場所の理由を紹介する。 ・ペアで紹介した後、全体で発表する。	・単に伝え合うのではなく、児童の実態に合わせて、指導編に提示されているやり方を参考に、クイズ形式などで行ってもよい。例えば、ペアで自分のお気に入りの場所へ案内し、どの場所なのかを当てるといった形にしてもよい。その場合、実際に案内役と案内される役に分かれて、校内地図を用いて、自分のお気に入りの場所までを案内するスキットを演じさせる。その時に相手に配慮した言い方になるように留意させる。 ◎相手に配慮しながら自分の学校で好きな場所へ案内したり、なぜそう思うのかを伝え合ったりしようとする。〈行動観察・発表観察〉	ワークシート
4分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード 点検

5 年 - Unit 5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること

1. 単元目標

- ・文字には読み方のほかに音があることに気づき、文字の音が分かるとともに できることやできないことを尋ねたり 答えたりする表現が分かる。(知識及び技能)
- ・まとまった話を聞いて、具体的な情報を聞き取るとともに、第三者についてできることやできないことを含めて紹介 する。できることなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分か り、相手に伝える目的を持って例を参考に書き写す。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら自分や第三者ができることできないことなどを紹介しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

○Can you (sing well)? Yes, I can. / No, I can't. [I / You / He / She] [can / can't] (sing well).

○動作 (do, swim, cook, sing, ride, dance, speak, draw, fly),

身の回りの物 (bicycle, unicycle, recorder, piano, guitar), can, can't, he, she, fast, well, high

(既出表現・語彙 Do you like (soccer)? Yes, I do. / No, I don't. I [like / don't like] (soccer) very much. スポーツ, 動作, 日課)

3. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き 取ることができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる ようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣 れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8 時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】、○) ※【 】 = 誌面化されている活動	◎評価<方法>
1	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。 【Let's Watch and Think 1】 ・映像資料の音声聞いて、その人物が誰かを推測する。 【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム ○キー・フレーズ・ゲーム I can ~ / I can't ~. の表現を使って行う。 ○できることを伝え合う。 【Let's Chant】 Can you sing well? 【Jingle】 Animals	◎ I can ~. I can't ~. の文を聞いたり言 ったりしている。〈行動観察〉
2	◆できることやできないことについて聞いて分かり、尋ねたり答えたりできる。 【Let's Chant】 Can you sing well? 【Let's Listen 1】 ・音声聞いてどの動物かを考えて、イラストの下に番号を記入する。 ○かるた取りゲーム 【Let's Play 2】 ・できることできないことを予想して尋ねたり答えたりする。 【Jingle】 Animals ○Sounds and Letters 5×5 ビンゴ	◎できることできないことを聞いて分 かる。〈行動観察〉 ◎できることを尋ねたり答えたりして いる。〈行動観察〉
3	◆できることやできないことに関する短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。	

	<p>○Small Talk : 好きなスポーツや趣味 【Activity 1】 ・ペアでできることできないことを予想して尋ね合う。 【Let's Listen 2】 ・音声を聞いて, イラストにある動物の内どの動物のことかを考える。 ○Destiny・ゲーム 【Let's Chant】 Can you sing well? 【Jingle】 Animals</p>	<p>◎音声を聞いて, どの動物のことかを考えて番号を記入している。(行動観察・記述分析)</p>
4	<p>◆ できることできないことについて短い話を聞いて, 具体的な情報を聞き取るとともに, 尋ねたり答えたりできる。 【Let's Chant】 Can you sing well? 【Let's Watch and Think 2】 ・世界の子供たちができることできないことを尋ねたり答えたりする映像資料を見て, 音声につけて指導者と一緒に言う。 【Activity 2】 ・友達にあることについてできるかどうかを尋ね, できる場合はイラスト下に名前を書いてもらう。 【Activity 3】 ・班ごとにインタビューに行く先生を決め, インタビューの準備をする。 ○Sounds and Letters ひそひそビンゴゲーム</p>	<p>◎映像資料を視聴し, できることできないことを聞き取り誌面に記入している。(行動観察・記述観察) ◎できることできないことについて尋ねたり答えたりしている。(行動観察・記述観察)</p>
5	<p>◆できることできないことについて, 例を参考に語句を書くことができる。 ○Small Talk: 好きな有名人 【Let's Watch and Think 3】 前時の Let's Watch and Think 2 で視聴した人物のできることできないことを He / She を使って紹介されているのを視聴する。 ○Who is he? Who is she? 指導者が he / she を使って話すキャラクターについて聞き, それが誰かを当てる。 【Let's Chant】 She can run fast. He can jump high. 【Jingle】 Animals ○Let's Read and Write ・例を参考に紹介する先生のできること, できないことを書く。</p>	<p>◎できることできないことについて例を参考に書き写している。(記述分析)</p>
6	<p>◆できることできないことを尋ねたり答えたりするとともに, 例を参考に書き写すことができる。 【Let's Chant】 She can run fast. He can jump high. 【Let's Listen 3】 ・音声を聞いて, どの人物かを考え, 人物の写真の下に番号を記入する。 ○Who is he? Who is she? ・有名人の中から一人選び, ほかの児童が順にその人ができることできないことについて尋ねる。 【Activity 4】 ・グループでインタビューの結果を整理し, スピーチの準備をする。 ○Let's Read and Write ・例を参考に紹介する先生のできること, できないことを書く。 ○Sounds and Letters ワード・サーチ・ゲーム</p>	<p>◎できることできないことについて尋ねたり答えたりしている。(行動観察) ◎例を参考に書き写している。(記述分析)</p>
7	<p>◆他者に配慮しながらある人物を「できること」「できないこと」を含めて自分のことや感想など自分の思いも含め紹介しようとするとともに, できることできないことについて, 目的意識をもって例を参考に書くことができる。</p>	

	<p>○Small Talk: 尊敬する人 【Let's Chant】 She can run fast. He can jump high. ○Who is he? Who is she? ・インタビューに行っていない先生についてできることできないことを聞き, それが誰かを考えて答える。 ・ペアの一人が, ある先生についてできること, できないことについて尋ね, どの先生かをあてる。 ○Let's Read and Write ・例を参考に紹介する先生のできること, できないことを書く。 ○先生や自分のことを紹介しよう ・班でペアになり, インタビューをもとにその先生ができることできないことを, 自分のことも含めてスピーチする。 【Jingle】 Animals</p>	<p>◎できることできないことについて, 相手に伝える目的をもって例を参考に書き写そうとしている。〈記述分析〉 ◎他者に配慮しながら自分のことや感想など自分の思いも含めて第三者について, できること/できないことを含めて紹介しようとしている。〈発表観察〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら, ある人物について「できること」「できないこと」を, 自分の考えも含めて紹介しようとする。また, 文字には音があることに気付く。 【Let's Chant】 She can run fast. He can jump high. ○先生や自分のことを紹介しよう ・グループごとに, インタビューの内容をもとにある先生のことを紹介する。 【Jingle】 Animals</p>	<p>◎他者に配慮しながら, ある人物について「できること」「できないこと」を, 自分の考えも含めて紹介しようとする。〈発表観察〉 ◎文字(活字体)には読み方のほかに音があることに気付く。〈行動観察〉</p>

<p>第 5 学年 Unit 5 She can run fast. He can jump high. 1/8 時間</p> <p>目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。</p> <p>準 備 児童用テキスト, 教師用絵カード (動作), 児童用絵カード(動作), デジタル教材, 振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
2 分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。指導者の調子を聞く。友達と調子聞き合う。 Good morning/afternoon ○○ -sensei. How are you? 「I'm fine/good/hungry/sleepy. 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 	
10 分	<p>【Let's Watch and Think 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ある人物についてその人物ができることやできないことを話している映像を見て, その人物が誰かを推測する。 <p>石川佳純 : I like sports. I can speak Chinese. I can play table tennis very well. 山中伸弥 : I am a doctor and a researcher. I got Nobel prize in 2012. I can speak English. 長友佑都 : I am from Ehime. I can speak Italian. I can play soccer very well. 羽生結弦 : I can jump on the ice. I like music. I can skate very well.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて確認し, 動作を表す語句や「できる」「できない」という表現を絵カードと英語で提示する。映像を視聴しながら, ジェスチャーを交えるなど, 児童が内容を推測し易いようにする。 	<p>児童用テキスト デジタル教材 絵カード(動作)</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてと流れを児童と確認する。 	
7 分	<p>【Let's Play 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ポインティング・ゲームをする。指導者の言う語句を聞いて, p. 39 の動作を表す絵を指す。) 	<ul style="list-style-type: none"> やり方をデモンストレーションで示す。 p.39 の動作を表す語句をゆっくりはっきり発音する。 	教師用絵カード(動作)
8 分	<p>○キー・フレーズ・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> やり方をデモンストレーションで示す。 I can ~/I can't. の表現を使って行う。消しゴムを取った後は騒がしくなりがちなので, 合図を出して切り替えさせ, 表現を繰り返して言わせる。本活動のねらいは, 表現を何度も聞いたり繰り返したりすることであることから, テンポよく言うようにする。 ◎I can ~. I can't ~. の文を聞いたり言ったりしている。<行動観察> 	教師用絵カード(動作)
5 分	<p>○できることを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 誌面 p.39 の動作のイラストを見て, 自分ができることをペアに伝える。その際, 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者は, 動作絵カードを見せながら, 自信ができたことを紹介する。その際, 数名の児童にそれができるかどうかを言うよう促す。 I can play soccer. ○○ san, can you play soccer? Yes, you can play soccer. 誌面 p.39 の動作のイラストを見て, 自分ができるところをペアで伝え合うよう言う。 	<p>児童用テキスト 教師用絵カード(動作)</p>

5分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>-----</p> <p>オプション 1</p> <p>I can run. I can swim. Who am I? I'm a dog. I can jump. I can't swim. Who am I? I'm a rabbit. I can run. I can swim. And I can jump. Who am I? (clap) It's me!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オプション 1 から始める。まず児童に聞かせ、ゆっくりバージョンから始めるようにする。 	デジタル教材
5分	<p>【Jingle】 Animals</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Animal ジングルを聞く。(バージョン 1) ・音に注意しながら文字の名称を言う。 ・そのほかの部分で言えるところは一緒に言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、児童に英語で知っている動物の言い方を尋ねる。今から、Animal ジングルを聞くことを告げ、どのような動物が聞こえたかを聞き取るよう言う。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 	デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

<p>第 5 学年 Unit 5 She can run fast. He can jump high. 2/8 時間</p> <p>目 標 できることやできないことについて聞いて分かり、尋ねたり答えたりできる。</p> <p>準 備 児童用テキスト, 教師用絵カード (動作), 児童用絵カード (動作), ワークシート (No. 〇), デジタル教材, 振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
3 分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。指導者の調子を聞く。友達と調子を聞き合う。 <p>Good morning/afternoon ○○ -sensei. How are you? How are you? - I'm fine/good/hungry/sleepy.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 	
5 分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? ・チャンツを言う。</p> <p>オプション 1 I can run. I can swim. Who am I? I'm a dog. I can jump. I can't swim. Who am I? I'm a rabbit. I can run. I can swim. And I can jump. Who am I? (clap) It's me!</p>	<ul style="list-style-type: none"> オプション 1 児童の実態により、スピードを選んでチャンツを言わせるようにする。 	デジタル教材
8 分	<p>【Let's Listen 1】 ・音声を聞いてどの動物かを考えて、イラストの下に番号を記入する。</p> <p>No.1 Can you sing? Yes, I can. I can sing. And I can swim. Who am I? (解答: Boy) No.2 Can you sing? Yes, I can. I can sing. But I can't swim. Who am I (解答: Bird) No.3 Can you sing? No, I can't. I can't sing. But I can walk in the water. Who am I? (解答: Hippo)</p>	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ三種類の動物が何かを確認し、音声を聞かせる。 1 問目を児童と考えることで、どの動物かを考えて、誌面上の動物イラストの下に番号を記入すればよいことに気付かせるようにする。 <p>◎答え合わせの際には、単に番号を確認するだけでなく、音声が続いて表現を言わせるようにする。 ◎できることできないことを聞いて分かる。〈行動観察〉</p>	児童用テキスト デジタル教材
7 分	<p>○かた取りゲーム ・グループで児童用絵カード (動作) を机の上に広げる活動する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進め方をデモンストレーションで示す。 	教師用絵カード (動作) 児童用絵カード (動作)
<p>指導者に続いて質問の文を言う。指導者が No, I can't. と答えた時はリピートし, Yes, I can. と答えた時はカードを取る。Ex) T: Can you play soccer? S: Can you play soccer? T: No, I can't. I can't play soccer. S: No, I can't. I can't play soccer. T: Can you play the piano? S: Can you play the piano? T: Yes, I can. S ピアノのカードを取る T: 合図を出して切り替えさせる Yes, I can. I can play the piano. S: Yes, I can. I can play the piano.繰り返す</p>			

8分	<p>【Let's Play 1】 ・できることできないことを予想して尋ねたり答えたりする。</p> <p>グループで活動する。誌面 p.36, 37 を使用する。グループの内の 1 人が、誌面の動物の中から一つを選んで、その動物になりきって質問に答える。残りの児童は、1 人 1 つずつ質問をする。質問が終わったら相談をしてどの動物かを予想し、尋ねる。</p> <p>Ex)A: うさぎを選ぶ A: Yes, I can. I can jump. A: No, I can't. I can't sing. A: No, I can't. I can't swim. A: No, I'm not. I'm a rabbit.</p> <p>B: Can you jump? C: Can you sing? D: Can you swim? BCD: 相談する Are you a grasshopper? A の役を交代して続ける。</p>	<p>・やり方をデモンストレーションで示す。</p> <p>◎できることを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>【Jingle】 Animals</p>	<p>・最初の音に注目しながらみんなで言う。 ・文字・音・キーワードの 3 つのグループに分かれて言う。(バージョン 1)</p>	デジタル教材 ワークシート
5分	<p>O Sounds and Letters ・5×5 ビンゴ</p>	<p>・音声資料ジングル A/aa/apple を聞く。 ・四線の引かれた 25 のマスに聞こえた小文字を好きな場所を書く。(x 以外) ・ペアで自分のシートに書かれた文字を見せて言い合う。</p>	ワークシート
4分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

<p>第 5 学年 Unit 5 She can run fast. He can jump high. 3/8 時間</p> <p>目 標 できることやできないことに関する短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ることができる。</p> <p>準 備 児童用テキスト、教師用絵カード（動作、Fast / well / high）、児童用絵カード（動作）、ワークシート（No. ○）、デジタル教材、振り返りカード、バトミントン用ラケット等趣味でできることの具体物</p>

時間	児童の活動	指導者（T）の活動と使用英語例 ◎評価（方法）	準備物
5 分	<p>・挨拶をする。指導者の調子を聞く。 友達と調子を聞き合う。 Good morning/afternoon ○○ -sensei. How are you? How are you? - I'm fine/good/hungry/sleepy. ○Small Talk</p> <p>・指導者の話を、反応を示したり、 質問について考えたり答えたりし ながら聞く。</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。</p> <p>・好きなスポーツや趣味について話す。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込み ながら話すようにする。</p>	バトミントン用ラケ ット等, Small Talk で指導者が趣味でで きることなどの具体 物として示すもの
	<p>好きなスポーツや趣味について(例)</p> <p>T: Look! Look at this. What's this? K: A racket. T: Yes, that's right. It's a racket. It's a badminton racket. This is my badminton racket. I can play badminton very well. (ラケットを振って見せる) I can play badminton very well. Can you play badminton well? Do you like badminton? I love badminton very much. It's very fun. I'm a good badminton player. I can play it very well. Can you play badminton? Can you play soccer well? (ボールを蹴るジ ェスチャーをしながら) Can you play the piano well? (ピアノを弾くジェスチャーをしながら) Can you dance well?(ダンスのジェスチャーをしながら) Can you play kendo? (竹刀を振るジ ェスチャーをしながら) I can play badminton well.</p>		
10 分	<p>【Activity 1】</p> <p>・ペアになり、相手ができるかでき ないかを予想して、誌面予想□にで きる場合は○、できない場合は△を 記入する。その後尋ね合い、自分の 予想が合っているか確認する。 ・反応を示しながら聞くようにす る。</p>	<p>・進め方をデモンストレーションで示す。答えを聞 く際には、You can swim. That's great.等反応を示 しながら聞くよう促す。</p>	児童用テキスト 教師用絵カード(動 作, fast/well/high)
7 分	<p>【Let's Listen 2】Who am I? (動物 編 2)</p> <p>・音声を聞いて、イラストにある動 物の内どの動物のことかを考えて 記入する。</p>	<p>・あらかじめ四種類の動物が何かを確認し、音声を 聞かせる。 音声を聞いて、誌面イラストにある動物の内どの動 物のことかを考えて、()に番号を記入させる。 ・音声内容は、前時の Let's Listen 2 と違い、動物 が速く走ったり高くジャンプできたりなどより特 徴的なことについて話している様子。※fast, high, well 等のインプット</p>	児童用テキスト デジタル教材

	<p>No.1 I can run very fast. But I can't sing well. Who am I? (解答: Cheetah) No.2 I can jump high. But I can't swim. Who am I? (解答: Kangaroo) No.3 I can sing very well. But I can't swim. Who am I? (解答: Bird) No.4 I can swim very fast. But I can't run very fast. Who am I? (解答: Penguin)</p>		
		◎音声を聞いて, どの動物のことかを考えて番号を記入している。〈行動観察・記述分析〉	
8分	○デスティニー・ゲーム ・グループで行う。	・進め方をデモンストレーションで示す。	児童用絵カード(動作)
	<p>指導者はグループに動作絵カード 1 セットを配る。児童はグループの人数に, カードが同数になるように配る。well, high, fast を付けて答えるゲーム。以下のように, 指導者が言うカードを持っている児童は, 指導者の質問に答えてカードを中央に出すことができる。ない児童は, No, ~ で答えるのみ。早く手持ちのカードがなくなった人が勝ちとなる。</p> <p>T: Can you jump high? S: (jump の絵カードを持っている児童) Yes, I can. I can jump high. S: (jump の絵カードを持っていない児童) No, I can't. I can't jump high.</p>		
5分	【Let's Chant】 Can you sing well? ・チャンツを言う	・オプション1のスピードかチャンツを言わせるようにする。	デジタル教材
	<p>オプション 2 (うさぎが魚に聞く) Can you jump? (魚) No, I can't. I can't jump. But I can swim fast. (魚が鳥に聞く) Can you swim? (鳥) No, I can't. I can't swim. But I can sing well. (鳥がカンガルーに聞く) Can you sing? (カンガルー) No, I can't. I can't sing. But I can jump high.</p>		
5分	【Jingle】 Animals	・絵を見ながらジングルをみんなで言う。(オプション 2) ・ワークシートに聞こえた小文字を書く。	デジタル教材 ワークシート
5分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

第 5 学年 Unit 5 She can run fast. He can jump high. 4/8 時間

目 標 できることできないことについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取るとともに、尋ねたり答えたりできる。
準 備 児童用テキスト、教師用絵カード（動作）、ワークシート（No. 〇）、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価〈方法〉	準備物
3分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。指導者の調子を聞く。 友達と調子を聞き合う。 Good morning/afternoon ○○ -sensei. How are you?] 「How are you? - I'm fine/good/hungry/sleepy. 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と共に確認する。 	
4分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? ・チャンツを言う。</p> <p>オプション 2</p> <p>(うさぎが魚に聞く) Can you jump? (魚) No, I can't. I can't jump. But I can swim fast. (魚が鳥に聞く) Can you swim? (鳥) No, I can't. I can't swim. But I can sing well. (鳥がカンガルーに聞く) Can you sing? (カンガルー) No, I can't. I can't sing. But I can jump high.</p>	<ul style="list-style-type: none"> オプション 2 児童の実態により、スピードを選んでチャンツを言わせるようにする。 	デジタル教材
8分	<p>【Let's Watch and Think 2】</p> <p>世界の子供たちができること/できないことを尋ねたり答えたりする映像資料を視聴して、誌面イラストにできることには○、できないことには△で囲む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再度映像資料を見ながら答えを確認し、指導者と共に言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 会話形式でできることできないことを尋ねたり答えたりする映像資料。人によってできること/できないことが様々であることについて、具体的な情報を聞き取らせる。また、Can you ~? Yes/No, I can/can't. But I can ~.の表現を具体的な場面を通して導入する。答え合わせの際には、答えの確認だけでなく、音声に続けて指導者と一緒に言わせるようにする。 	デジタル教材
	<p>J: Hi, Christina. C: Hi. John. J: Cristina. Are you from the USA? C: No, I'm not. I'm from the Philippines. How about you, John. Where are you from? J: I'm from Australia. C: I see. What sport do you like, John? J: I like swimming. I can swim fast. How about you, Christina? What can you do? C: Oh, I can ride a unicycle very well. And I can cook. I can cook curry and rice. Can you cook, John? J: No, I can't. I can't cook. C: Do you like music, John. J: Yes, I do. I like music. But I can't play the piano. C: That's OK. I can't sing well. But I like music very much. J: Oh, one more thing. I can play kendama! C: Nice, I want to try kendama.</p>		
		◎映像資料を視聴し、できることできないことを聞き取り誌面に記入している。〈行動観察・記述観察〉	

8分	<p>【Activity 2】友達にインタビューして、サインをもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内を歩いて回り、友達に誌面にあることについてできるかどうかを尋ね、できる場合は、イラスト下に名前を書いてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方をデモンストレーションで示す。 ※well/fast/high 等も込みの表現で行わせる。I can swim. I can swim well. I can swim fast.の違いを明確にし、答えを言わせるようにする。 ◎できることできないことについて尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述観察〉 	<p>児童用テキスト 教師用絵カード(動作)</p>
13分	<p>【Activity 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとにインタビューに行く先生を決める。 ・それぞれ聞きたいことを決め、聞き方の練習等インタビューの準備をする。 ※次時までに班毎にインタビューに行っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの実態に応じて、インタビューに行く先生を相談やくじ引きで決めさせる。班の中で質問事項がかぶらないように、聞きたいことを考え、誰がどんな質問をするのか等インタビューの準備をさせる。 ・次時までに必ず班でインタビューに行っておくことや、インタビューをする際の注意等を確認しておく。 	<p>児童用テキスト</p>
5分	<p>○Sounds and Letters ひそひそビンゴゲーム</p> <p>指導者は、動物アイコンのついたカードから任意の数分(12~18)を選び、動物名を言う。児童はその動物名の最初のアルファベットの文字に印をする。縦、横、斜めに印が揃っても従来のビンゴのように大声で「ビンゴ!」と言わない。あらかじめ決められた数の動物名を読み上げた後に、それぞれいくつビンゴができたか数える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2時間目, Let's Listen 2 で作成したビンゴ・シートを使う。 	<p>ワークシート</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで大きな声を出さないでひそひそ声でゲームを進める。 ・5文字が並んでも「Bingo!」とは言わないで最後にいくつ揃ったから縦・横・斜めで数える。 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

第 5 学年 Unit 5 She can run fast. He can jump high. 5/8 時間
目 標 できることできないことについて, 例を参考に語句を書くことができる。
準 備 児童用テキスト, 教師用絵カード (he/she/キャラクター), ワークシート (No. 〇), デジタル教材, 振り 返りカード

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
5 分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。指導者の調子を聞く。友達と調子を聞き合う。 Good morning/afternoon ○○ -sensei. How are you? How are you? - I'm fine/good/hungry/sleepy. ○Small Talk ・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。 ・好きな有名人について話す。 ・一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	
	<p>好きな有名人 (例)</p> <p>Today, I have a picture of someone. (写真を手に児童に話しかける) He is an athlete. Do you know the word "athlete"? (児童の予想される答え: 「アスレチック」「運動選手」) Yes, he is a sport player. Who is he? (いくつか出てくるスポーツ選手名に対して, その名前だけを繰り返し, 正解は言わない) Ichiro? Maybe.</p> <p>I give you 3 hints. Hint No1. He can jump high. (飛び上がって見せる) Hint No2. He can turn very well. (回って見せる). Do you know who he is? Any ideas? (児童に問いかけるが, ここでも正解は言わないで続ける) Hint No3. He was in the Olympic in Brazil. Who is he?</p> <p>The answer is (写真を見せながら) 内村航平 I like him very much. He is very cool. ○○さん Good job! (途中経過ですでに当てていた児童を褒める)</p>		
8 分	<p>【Let's Watch and Think 3】</p> <p>前時の Let's Watch and Think 2 で視聴した人物のできないことを he/she を使って紹介されているのを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞きながら自分の前時の答えと合っているか確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見ながら, 聞き取りにくそうな場合には繰り返し聞かせるなどする。 ・音声に続いて一緒に言わせる。 ・三人称 he, she に初めて出会い, その意味が分かることをねらいとしている。 	<p>教師用絵カード (he / she)</p> <p>デジタル教材</p>
	<p>Satoshi: Hello! My name is Satoshi. My friend John is from Australia. He can swim fast. And he can play <i>kendama</i>. He can't cook. And he can't play the piano.</p> <p>My friend Christina is from the Philippines. She can ride a unicycle. She can cook. She can cook curry and rice. But she can't sing well.</p>		
7 分	<p>○Who is he? Who is she?</p> <p>he / she を使って紹介されるキャラクターについて, それがどのキャラクターかを予想して答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンパンマン/ドラえもん/ルフィー/ミッキーマウス/キティちゃん/サザエさん/コナン/トーマス/仮面ライダーなどのキャラクター絵カードを示す。 ・指導者はキャラクターの中から一つを選び, できることできないことを he / she を使って話す。児童にそれがどのキャラクターのことか予想し, 答えさせる。 ・答え合わせの際には, 再度 he / she を使ってできることできないことを話しながら, 児童にも繰り返して言わせるようにする。 	<p>教師用絵カード(キャラクター, he / she)</p>

5分	<p>【Let's Chant】 She can run fast. He can jump high. ・チャンツを言う。</p> <p>-----</p> <p>This is my friend, Kosei. He can play basketball. He can run fast. And he can jump high. This is my teacher, Ms. Tanaka Yuka. She can play the recorder. She can sing well. And she can cook well. I can't run fast. But I can jump high. I can't sing well. But I can cook well. How about you? Can you run fast? Can you sing well? What can you do?</p>	<p>・オプション 3 をまず聞かせ、ゆっくりのスピードからチャンツを言わせるようにする。</p>	デジタル教材
5分	<p>【Jingle】 Animals</p>	<p>・ジングル(バージョン 2)をみんなで言ったあと、ペアで 1 つのチャート(児童用テキスト巻末)を使って交代に言う。 ・児童の実態に応じ文字見ての音を言うバージョン 3 にも挑戦するとよい。</p>	デジタル教材
10分	<p>○Let's Read and Write</p> <p>・例を参考に紹介する先生のできる こと、できないことをインタビュー 結果に基づいて書く。</p>	<p>・書き方の例を示す。 ・例をよく見ながら丁寧に書き写すよう指導する。 ◎できることできないことについて例を参考に書き写している。(記述分析)</p>	ワークシート
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返り カードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

7分	○Let's Read and Write 例を参考に紹介する先生のできる こと，できないことを書く。	・書き方の例を示す。 ・例をよく見ながら丁寧に書き写すよう指導する。 ◎例を参考に書き写している。〈記述分析〉	ワークシート
5分	○Sounds and Letters ワード・サーチ・ゲーム	・25 マスに書かれた小文字の中から，音を考えなが ら単語を探して印をする。 ・オリジナル・ワード・サーチを作る。	ワークシート
3分	・本時の活動を振り返る。振り返り カードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

第 5 学年 Unit 5 Lesson 7 She can run fast. He can jump high. 7/8 時間

目 標 他者に配慮しながらある人物を「できること」「できないこと」を含めて自分のことや感想など自分の思いも含め紹介しようとするとともに、できることできないことについて、目的意識をもって例を参考に書くことができる。

準 備 教師用絵カード（動作, he/she), ワークシート (No. ~), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
5 分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。指導者の調子を聞く。友達と調子を尋ね聞き合う。 Good morning/afternoon ○○ -sensei. How are you? How are you? - I'm fine/good/hungry/sleepy. ○Small Talk <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 尊敬する人について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	
<p>尊敬する人(例)</p> <p>Do you know him? (スティーブジョブズの写真を見せながら) (児童の予想される反応: 「知っている」「わからない」など。正解が出たら) You are right! He is Steve Jobs. He started Apple Computer Company. Do you know him? (リンゴの絵などを見せながら) He was born in 1955 and died in 2011.(黒板に数字を書きながら). All computers were very big (ジェスチャーで大きさを示しながら) before. Now, how big are the computers? (児童に問いかける)</p> <p>This big? This size? (予想される児童の反応: small! Small!) Smaller? How about telephones? How big? They are so small now. I respect him.</p> <p>オプション</p> <p>He said, "Stay hungry. Stay foolish." (黒板に書く) What is "hungry"? How about "foolish"? (どんな意図でこの言葉を使ったのか考える)</p>			
3 分	<p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、スピードやオプションを選んでチャンツを言わせるようにする。 	デジタル教材
6 分	<p>○Who is he? Who is she?</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューに行っていない先生についてできることできないことを聞き、それが誰かを考えて答える。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューに行かない先生についてできることできないことを紹介する。栄養教諭や養護教諭など特徴のある分かりやすい先生から始めるようにする。 児童がスピーチする際のヒントになるよう、できることできないことだけでなく、自分ではできるかどうかや感想も含めて話すようにする。 スピーチの後児童に誰のことかを考えさせ、答えとして This is ○○sensei. で表現する。 	教師用絵カード(動作, he/she)
7 分	<p>○Who is he? Who is she?</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで行う。 ペアの一人が、ある先生についてできること、できないことについて尋ね、どの先生かをあてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアの一人が、前活動で紹介された先生の一人を選ぶ。もう一人がその先生についてできることできないことについて尋ね、その答えから、どの先生かをあてる。役割を交代して続ける。 	

7 分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 例を参考に紹介する先生のできる こと，できないことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き方の例を示す。 例をよく見ながら丁寧に書き写すよう指導する。 <p>◎できることできないことについて，相手に伝える 目的をもって例を参考に書き写そうとしている。 〈記述分析〉</p>	ワークシート
10 分	<p>○先生や自分のことを紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 班でペアになり，インタビューを もとにその先生ができることでき ないことを，自分のことも含めてス ピーチする。 互いのスピーチについて良かった ところや分かりにくかったところ などをアドバイスし合い，ジェスチ ャーを入れるなどアドバイスに沿 って改善をして，次時のスピーチの 準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで活動させる。 先生にインタビューしたことをもとに，その先生 ができることできないことを自分のことも含めて スピーチするため，既出表現についてどんな表現が 使えそうか交流させたり，どんなスピーチが良い か，また悪いか，例を挙げさせて交流させたりして から始めるようにする。 <p>◎他者に配慮しながら自分のことや感想など自分 の思いも含めて第三者について，できること/でき ないことを含めて紹介しようとしている。〈発表観 察〉</p>	ワークシート
4 分	<p>【Jingle】 Animals</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動物ジングルのチャートを使って，じゃんけんす ごろくをする。(勝った数だけジングルを言いながら 進む。) グー (1) チョキ (2) パー (5) 	ワークシート デジタル音源
3 分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返り カードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

第 5 学年 Unit 5 She can run fast. He can jump high. 8/8 時間

目 標 他者に配慮しながら, ある人物について「できること」「できないこと」を, 自分の考えも
含めて紹介しようとする。また, 文字には音があることに気付く。

準 備 ワークシート (No. ～), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	準備物
3 分	・挨拶をする。指導者の調子を聞く。 友達と調子を聞き合う。 「Good morning/afternoon ○○ -sensei. How are you? 「How are you? - I'm fine/good/hungry/sleepy.」	・全体にあいさつし, 個別に数名の児童にあいさつ する。 ・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。	
5 分	【Let's Chant】 ・チャンツを言う。	・児童の実態により, スピードやオプションを選ん でチャンツを言わせるようにする。	デジタル教材
27 分	○先生や自分のことを紹介しよう ・インタビューの内容をもとにある 先生のことを紹介する。 ・聞いている間は, 聞き取れた内容 をワークシートに記入をする。	・評価の視点や, 目指すべき姿を共有する。 ・聞いている人は, ワークシートに聞き取れた内容 を聞き取れた部分だけでもよいので記入するよう 促す。 ・中間評価をし, 良いスピーチについて, 具体的に 児童と共通理解し, 後半のスピーチを行う。 ◎他者に配慮しながら, ある人物について「できる こと」「できないこと」を, 自分の考えも含めて紹 介しようとする。〈発表観察〉	ワークシート (No. ～)
5 分	【Jingle】 Animals	・友達の指すアルファベットをみて, その音とその 音で始まる動物を言う。交代に 5 回言う。 ・文字と音ついては, 単元を通して適宜評価する ◎文字 (活字体) には読み方のほかに音があること に気付く。〈行動観察〉	
5 分	・本時の活動及び本単元をふり返 る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

第 6 学年—Unit 5 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出

1. 単元目標

- ・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを言ったり聞いたりすることができる。（知識及び技能）
- ・過去の表現が分かり、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に自分の夏休みの思い出について話したことを、語順を意識しながら書いたりする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。（学びに向う力、人間性等）

2. 言語材料

○I went to (my grandparents' place). It was(fun). I enjoyed(fishing). It was(exciting). I saw (the blue sea). It was (beautiful).

○grandparent, vacation, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), 自然 (beach, mountain, sea, lake, river), 動作 (hiking, camping, fishing)

(既出表現・語彙 I'm from (Shizuoka). I [like / play] (soccer). my, it, スポーツ, 食べ物, 季節, 動作, 身の回りの物, 状態や気持ちを表す語)

3. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8 時間)

時	目標(◆)と主な活動(【】、○) ※【 】=誌面化されている活動	◎評価<方法>
1	<p>◆夏休みに行った場所を言ったり聞いたりしている。</p> <p>○Small Talk 話題:夏の食べ物 【Listen①】 「何をしたのかな」 ・登場人物が、夏休みの思い出について話している英語を聞き、行った場所、そこでしたこと、食べた物の話の内容に合うように誌面上の絵を線で結ぶ。</p> <p>○Let' s Play ポインティング・ゲーム①② ・指導者が言う施設・場所・動作・食べ物の絵を指す(①個人、②ペア)。</p> <p>○Let's Play ・夏休みに行った場所をペアで伝え合う。 S1: I went to the sea. How about you? S2: I went to the mountain. S1: I see. Thank you.</p> <p>○Let's Read and Write 書く文例:I went to (the sea). ・デジタル教材の音声聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 ○単元の終末の活動を知る</p>	◎I went to～. を使って夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。<行動観察>
2	◆夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所や感想などが分かる。	

	<p>◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。</p> <p>【Let's Play】 ポインティング・ゲーム①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う施設・場所・動作・食べ物の絵を指さす（①個人、②ペア）。 <p>【Let's Watch and Think】 「何をしたのかな」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々の子供たちが夏休みの思い出について話している映像資料を視聴し、分かったことを誌面に記入する。 <p>○Let's Play フェイント・リポート・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を表す形容詞: fun, exciting, interesting, delicious, nice, good, great, wonderful, cool, beautiful <p>【Let's Chant】 Summer Vacation</p> <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに行った場所とその感想をペアで伝え合う <p>S: I went to the sea. It was beautiful. How about you?</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>書く文例: I went to (the sea). It was (fun).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声聞いて繰り返し読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・/p/の音で始まる単語を発表し合い、4 線上に/p/を書く。 	<p>◎夏休みの思い出についての話を聞いて、行った場所やしたことを誌面に書くことができる。〈記述観察〉</p> <p>◎I went to ~. It was ~. などを使って、夏休みに行った場所とその感想について伝え合っている。〈行動観察〉</p>
3	<p>◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。</p> <p>○Small Talk 話題: 夏休みの思い出(行った場所・感想)</p> <p>【Let's Chant】 Summer Vacation</p> <p>【Let's Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5~6 人で 1 グループを作り、順に夏休みに行った場所を話していく。その際、前の人が出た場所を言い、それに付け加えて自分が言った場所を話す。 ・次に、行った場所に感想を付け加えて言い、同様の活動を行う。 <p>【Let's Play】 ポインティング・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う語を繰り返して言い、誌面にあるその絵を指さす。 <p>感想を表す形容詞: fun, exciting, interesting, delicious, nice, good, great wonderful, cool, beautiful</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>書く文例: I went to (the park). It was (nice).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて繰り返し（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎I went to ~. It was ~. などを使って、夏休みに行った場所とその感想について伝え合っている。〈行動観察〉</p>
4	<p>◆夏休みに行った場所と食べた物、その感想を言ったり聞いたりする。</p> <p>【Let's Chant】 Summer Vacation</p> <p>【Let's Watch and Think①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 3 人が、夏休みに行った場所、したこと、食べた物、その感想を話している英語の音声のみを数回聞いて、内容に合うように誌面にある登場人物と絵を選ぶ。その後、改めて英語の音声を聞き、解答を確認する。 <p>○Let's Play</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、昨夜あるいは今朝食べた物を、絵カードを見せながら言う。一方的に言うのではなく、児童にそれを食べたか、好きかなど尋ねながら言う。 ・児童は、ペアになり、昨夜の夕食、今日の朝食で食べた 	

<p>物を相手に伝え合う。両隣・前後・斜めのペアで行う。</p> <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに行った場所と食べた物、その感想について、ペアで話す。ペアを替えて、複数回対話をする。 <p>S: I went to the sea. I ate <i>yakisoba</i>. It was delicious. How about you?</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>書く文例: I ate (pizza). It was (delicious).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて繰り返し（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・/r/の音で始まる単語を発表し合い、4 線上に/r/を書く。 	<p>◎I went to ~. I ate ~. It was ~. を使って、夏休みに行った場所と食べた物、その感想を言ったり聞いたりすることができる。〈行動観察〉</p>
<p>5 ◆夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりする。</p> <p>○Small Talk 話題: 夏休みの思い出(行った場所・食べた物・感想)</p> <p>【Let's Watch and Think②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 3 人が、質問をしたり答えたりして、それぞれ夏休みにしたこと、その感想を話している映像資料を視聴し、登場人物が夏休みにどこへ行き、何をしたかを誌面の表に記入する。 <p>○Let's Play マッチング・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、一人が場所や食べ物、動作の絵カードを持つ。もう一人が感想の絵カードを持つ。 ・それぞれが、相手に見えないように一枚ずつカードを選び発話をし、意味が合えばマッチした組み合わせとしてカードをよける。 <p>S1: I enjoyed [hiking / camping / swimming / shopping / fishing / playing baseball].</p> <p>S2: It was [fun / exciting / interesting / cool / great / delicious / wonderful / beautiful].</p> <p>○Let's Play</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで夏休みをしたことを言い合う。 <p>S: I went to the mountain. I enjoyed hiking. It was nice. How about you?</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>書く文例: I enjoyed (fishing). It was (exciting).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎I went to ~. I enjoyed ~. It was ~. を使って、夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりすることができる。〈行動観察〉</p>
<p>6 ◆夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所、楽しんだこと、食べた物、感想が分かる。</p> <p>◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べた物、その感想について伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 Summer Vacation</p> <p>【Let's Watch and Think】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 4 人が、ある場所に行ってきたこと、その感想を話し、最後に Guess where I went. とクイズを出している英語の音声を聞き、登場人物がどこで何をしたのかを考えて、誌面の絵から選ぶ。 (デジタル教材では、クイズを出した時に、画面に山、ショッピング・モール、川、遊園地、祭り、古い町並み、プールのイラストや写真が表示される) <p>○Let's Play カード・デスティニー・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア対抗で行う。動作・食べ物・感想絵カード（単語付）を分けて持ち、それぞれ机の上に並べる。指導者が I went to ~. (施設・場所) 	<p>◎夏休みの思い出について話を聞き、行った場所、したことなどが分かり、内容に合う絵を選ぶことができる。〈行動観察〉</p>

	<p>と言うのを聞いて、それに関連する絵カードを持っている方が、その絵カードを出しながら、後に文を続けて言う。①動作、②感想、③食べ物、④感想の順。早く絵カードがなくなったペアが勝ち。</p> <p>①I enjoyed ~.→②It was ~.→③I ate ~.→④It was ~.</p> <p>○Let's Talk ・夏休みの思い出に関して、「行った場所」「楽しんだこと」「食べた物」「感想」のいずれかについて、誌面を参考にしてペアに話す。</p> <p>○Sounds and Letters ・/k/の音で始まる単語を発表し合い、4 線上に/k/を書く。</p>	<p>◎I enjoyed -ing. や I ate ~. などを使って、夏休みに楽しんだことや食べた物について伝え合っている。〈行動観察〉</p>
7	<p>◆夏休みの思い出について書かれた文を推測して読んだり、他者に配慮しながら夏休みの思い出について伝え合おうとしたりする。</p> <p>○Small Talk 話題:週末の思い出(行った場所・楽しんだこと・感想) 【Let's Watch and Read】 ・まず、夏休みの思い出について書かれた英文を読む。その後、その英文が話されている映像資料を視聴して内容を確認する。 ・映像資料の音声に合わせて英文を読む。その後、映像資料の音声を消して、映像資料の英文を再度読む。</p> <p>○Let's Read and Write ・夏休みの思い出について、行った場所、食べた物、したことなど前時までワークシートに書き写した文を読む。</p> <p>① I went to the sea. It was fun. ② I went to the park. It was nice. ③ I ate pizza. It was delicious. ④ I enjoyed fishing. It was exciting.</p> <p>【Activity】 ・ペアで夏休みの思い出について伝え合う。相手を替えて繰り返す。</p>	<p>◎夏休みの思い出について書かれた英文を読んで内容を理解し、その英文を書いた人物を選んでいる。〈記述観察〉</p> <p>◎I went to ~. I ate ~. I enjoyed -ing. It was ~. などを使って、夏休みの思い出について伝え合おうとしている。〈行動観察〉</p>
8	<p>◆自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書こうとする。</p> <p>○Let's Read and Write ・夏休みの思い出について、前時まで書き写した文を参考に、行った場所、食べた物、楽しんだこと、感想を思い出アルバム用のシートに清書する。</p> <p>○Activity ・児童が前時で書いたアルバム用シートのいくつかを聞いたり読んだりして、それが誰なのかを考えて発表する。</p> <p>【Story Times】 ・ここで取り扱うライムは ish。 ・デジタル教材からライムの単語とそれらが含まれる文を 2~3 回聞く。その後、音声の後について言う。 ・ライムしている単語だけを読み出す。 ・ライムしている句や文だけを 2~3 回読んでみる。</p>	<p>◎夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考にしながら書いている。〈行動観察・記述観察〉</p>

<p>第 6 学年 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 1/8 時間</p> <p>目 標 夏休みに行った場所を言ったり聞いたりする。</p> <p>準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート、絵カード、振り返りカード</p>

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価(方法)	準備物
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。	
5 分	○Small Talk 話題:夏の食べ物 S1: What food do you like in summer? S2: I like watermelon. S1: Me, too. Why? S2: Because it's sweet. How about you?...	※Small Talk の指導の具体や発話例については、「授業研究の視点⑤ Small Talk(p. 81-82)」参照	
14 分	【Let's Watch and Think】 ・登場人物が夏休みの思い出について話している映像を視聴し、行った場所、そこでしたこと、食べた物を話の内容に合うように、誌面上の絵を線で結ぶ。 ・2 回程度繰り返して聞いた後に、答えを確認する。	T: Let's listen to the talk. デジタル教材の英語 A: I went to the mountains. I enjoyed camping. It was fun. B: I went to the zoo. I saw a panda, it was cute C: I went to the sea. I enjoyed fishing/ I ate o-bento. It was delicious T: I went to the sea in the summer vacation. How about you? S1: Sea. T: You went to the sea. Good. How about you?(他の児童を指名して) S2: Mountain. T: Oh, you went to the mountain. That sounds nice. S2, I went to...? S2: I went to the mountain. T: OK. How about S3? ・ここでは、映像資料で出合った I went to ~. を繰り返し聞かせることがねらいであるため、無理に言わせることはせず、促す程度に留めるとよい。	デジタル教材、児童用テキスト
10 分	○Let's Play ポインティング・ゲーム①② ・指導者が言う、施設・場所名、動作、食べ物の絵を指さす。 〈施設・場所〉 amusement park, mountain .sea, grandparents place 〈動作〉 fishing, hiking, camping, swimming, shopping 〈食べ物〉 ice cream .water melon. Curry and rice shaved ice ・指導者の後に続いて I went to ~. 等を付けて繰り返しながらゲームに取り組む。	T: Let's play Pointing Game! Spread the cards. When you can hear the name, touch the card. ・指導者は、以下の表現を言う。 (施設・場所名の場合) I went to... (動作の場合) I enjoyed... (食べ物の場合) I ate... ・まず①個人で、慣れてきたら②ペアで行う。 ・食べ物の絵カードは、前単元と重なるものについては同じカードを使うとよい。 ・この活動は、前活動で繰り返し聞いた I went to ~. を含め、I ate ~. I enjoyed ~. を、さらに繰り返し聞いたり言ったりすることがねらいであるため、児童にしっかりと知らせるようにする。	絵カード

5 分	<p>○Let's Play</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みに行った場所をペアで言い合おう <p>S1: I went to the sea. How about you? S2: I went to the mountain. S1: I see. Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペアで夏休みに行った場所について伝え合うよう指示する。両隣、前後、斜めと時間内に相手を替えて行う。 何度も聞いたり言ったりした I went to ~. を使って自分のことを言わせることがねらいである。海や山などの特別なところに行かなかった児童もいることに配慮し、学校や近くの公園、買い物等も含めて伝え合うよう指示する。 <p>◎I went to ~. を使って夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。〈行動観察〉</p>	
5 分	<p>○Let's Read and Write</p> <p>書く文例: I went to (the sea).</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the words in your textbook. Listen to the sentence again and Please write a word.</p>	デジタル教材、ワークシート
2 分	<p>○単元の終末の活動を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の終末では、クラスの仲間の夏休み思い出アルバムを作ることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者は、自分自身の夏休みの思い出について書いたものを提示するなどして、単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。 	
3 分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を評価する。 挨拶をする。 	振り返りカード

<p>第 6 学年 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 2/8 時間</p> <p>目 標 ・夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所や感想などが分かる。 ・過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。</p> <p>準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート、絵カード、振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価(方法)	準備物												
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。													
9 分	【Let's Play】ポインティング・ゲーム①② ・前時と同様に取り組む。(①個人、②ペア)	・前時と同じ要領で行う。	絵カード												
5 分	<p>【Let's Watch and Think ①】</p> <p>・世界の国々の子供たちが夏休みの思い出について話している映像資料を視聴し、誰が何をしたか等を誌面の表に記入する。また、日本の夏休みとどのように違うのか比べながら聞く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>Amy (the USA)</th> <th>John (Australia)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行った場所</td> <td>山 きれいだった</td> <td>公園 よかった</td> </tr> <tr> <td>したこと</td> <td>キャンプをした 楽しかった カレーを食べた おいしかった</td> <td>フットボールをした わくわくした サンドウィッチを食べた おいしかった</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>夏休みが長い</td> <td>今は冬</td> </tr> </tbody> </table> <p>・2 回程度繰り返して聞いた後、答えを確認する。</p>		Amy (the USA)	John (Australia)	行った場所	山 きれいだった	公園 よかった	したこと	キャンプをした 楽しかった カレーを食べた おいしかった	フットボールをした わくわくした サンドウィッチを食べた おいしかった	その他	夏休みが長い	今は冬	<p>T: Let's listen to the talk.</p> <p>デジタル教材の英語</p> <p>A: Hello, everyone! I'm Amy. I'm in the USA. We have a long summer vacation from June to August. I went to the mountain. It was beautiful. I enjoyed camping. It was fun. I ate curry and rice. It was delicious.</p> <p>B: Hello, everyone! I'm John. I'm in Australia. It is winter in Australia. I went to the park. It was nice. I enjoyed Australian football with my friends. It was exciting. I ate sandwiches. They were good.</p> <p>◎夏休みの思い出についての話を聞いて、行った場所やしたことを紙面に書くことができる。<記述観察></p>	デジタル教材、児童用テキスト
	Amy (the USA)	John (Australia)													
行った場所	山 きれいだった	公園 よかった													
したこと	キャンプをした 楽しかった カレーを食べた おいしかった	フットボールをした わくわくした サンドウィッチを食べた おいしかった													
その他	夏休みが長い	今は冬													
5 分	○Let's Play フェイント・リポート・ゲーム ・感想を表す形容詞を使って取り組む。 fun, exciting, interesting, cool, delicious, beautiful, good, nice, great, wonderful	・黒板に、児童と言い方を確認しながら感想を表す形容詞絵カードを貼る。 ・指導者が指すものを、指導者の後について発音するように言う。慣れてきたら、指導者は、指したものと違う語を言う。児童はそれに惑わされず指されたものの語を言う。	絵カード												
5 分	【Let's Chant】 Summer Vacation	・まず、チャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。	デジタル教材												
5 分	○Let's Talk ・夏休みに行った場所とその感想についてペアで伝え合う。 S1: I went to the sea. It was beautiful. How about you? S2: I went to the mountain. It was nice. S1: I see. Thank you.	<p>T: Now, let's talk about your summer vacation memories.</p> <p>・前時の「Let's Play」で伝え合ったことに感想を加える形で児童に言わせるとよい。また、海や山などの特別なところに行かなかった児童もいることに配慮し、学校や近くの公園、買い物等も含めて伝え合うよう指示する。</p> <p>◎I went to ~. It was ~. などを使って、夏休みに行った場所とその感想について伝え合っている。<行動観察></p>													
5 分	○Let's Read and Write 書く文例: I went to (the sea). It was	T: Please listen to the sentence and look at the words in your textbook.	デジタル教材												

	(fun). ・音声を聞いて繰り返し読んだ[言った] 後、ワードボックスから言葉を選んで書き 写す。	Listen to the sentence again and read it. Copy one word from the word box.	ワークシ ート
5 分	○Sounds and Letters ・ジングルを一通り聞く。 ・誌面にある p で始まる単語を見て、発音す る。その音で始まる単語を制限時間内に発表 し合う。 ・ワークシートの 4 線上に p の文字を書く。	・(時間に余裕があれば)ジングルを聞かせる。(※1) T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures in your textbook. Please repeat after the jingle. ・サウンド・テニス(※2)をすることを告げる。 T: Let's play 'Sound Tennis.' Think any words starting with /p/. Now, say the words within five seconds. ・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対 抗で行わせたり、制限時間を短くしていくなどするとよい。 ・ワークシートの 4 線上に p の文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter with the sound /p/.	デジタル 教材、 テキスト、 ワークシ ート
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに 記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカ ード

※1 ジングルは、5 年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6 年生は新教材のデジタル教材のみに収録され
ている。

※2 サウンド・テニスとは、学習している音(ここでは/p/)への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動であ
る。

〈活動の手順〉

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態や、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えら
れる。
- ② 学習している音(ここでは/p/)から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音(/p/)から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。(Five, four, three, two, one, time is
up! などと指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい)
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

<p>第 6 学年 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 3/8 時間</p> <p>目 標 ・過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。</p> <p>準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート、絵カード、振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価(方法)	準備物
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
9 分	○Small Talk 話題:夏休みの思い出(行った場所・感想) S1: I went to the amusement park. It was fun! S2: You went to the amusement park. That's nice! S1: How about you? S2: I went to Okinawa. It was beautiful! S1: You went to Okinawa. That's great. ...	※Small Talk の指導の具体や発話例については、「授業研究の視点⑤ Small Talk (p. 81-82)」参照	
5 分	【Let's Chant】 Summer Vacation	・一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
10 分	【Let's Talk】「夏休みに行った場所や感想を伝え合おう」	T: Let's talk in a group.	
	<p><活動の手順></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5~6 人でグループを作る。 ・グループで円になり、それぞれ言う「夏休みに行った場所」を決める。 ・最初の児童が自分の「夏休みに行った場所」を言う。 ・次の児童は、前の児童が言ったことを You と繰り返して言った後、自分の「場所」を付け足す。 ・その順番で最後の人まで、場所をつけたし、文を言っていく。 ・どのグループが最初に全員が言い終わるかを競う。 ・次に、行った場所に感想を付け加えて言い、同様の活動を行う。 		
	S1: I went to the sea. S2: You went to the sea and I went to the swimming pool. S3: You went to the swimming pool and I went to the amusement park.	◎I went to ~. It was ~. などを使って、夏休みに行った場所とその感想について伝え合っている。<行動観察>	
10 分	【Let's Play】ポインティング・ゲーム ・感想を表す形容詞を使ってポインティング・ゲームを行う。 fun, exciting, interesting, cool, delicious, beautiful, good, nice, great, wonderful	・ポインティング・ゲームをすることを告げる。 ・指導者が言う It was ~. を繰り返し、誌面にある感想を表す絵を指す。児童が慣れてきたら、指導者は感想だけでなく、I [went to / ate / enjoyed] ~. It was ~. と言い、児童に You [went to / ate / enjoyed] ~. It was ~. と繰り返して言わせるようにする。	絵カード、児童用テキスト
5 分	○Let's Read and Write 書く文例: I went to (the park). It was (nice). ・音声を聞いて繰り返し読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	T: Please listen to the sentence and look at the words in your textbook. Listen to the sentence again and read it. Copy one word from the wordbox.	デジタル教材、ワークシート
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

第 6 学年 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 4/8 時間

目 標 ・夏休みに行った場所と食べた物、その感想を言ったり聞いたりする。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート、デジタル教材、絵カード、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価(方法)	準備物
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
4 分	【Let's Chant】 Summer Vacation	・まず、チャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
10 分	【Let's Listen 2】 ・音声を数回聞いて、内容に合うように誌面にある登場人物と絵を線で結ぶ。その後、解答を確認する。	・3 人の登場人物が夏休みに行ったところ、したこと、食べた物、その感想を話している英語の音声を聞かせ、誌面上の登場人物と絵などを線で結ばせる。 T: Let's listen to the talk.	デジタル教材、児童用テキスト
		デジタル教材の英語 A: I went to the sea with my family. I enjoyed swimming. It was fun. And I ate watermelon. B: I went to the countryside. I enjoyed fishing. It was exciting. I ate o-bento. C: I went to the town. I enjoyed shopping. I ate ice cream. It was delicious.	
10 分	○Let's Play ・児童は、ペアになり、昨夜の夕食、今日の朝食で食べた物を相手に伝え合う。両隣・前後・斜めのペアで行う。	・指導者は、昨夜と今朝食べた物を、絵カードを見せながら紹介する。一方的に言うのではなく、児童にそれを食べたか、好きかなど尋ねながら紹介する。この活動を通して I ate~. の言い方を何度も聞かせ、次のペア活動につなげる。 T: I ate ~ last night. I liked it! How about you? Do you like ~? ...	絵カード
5 分	○Let's Talk ・夏休みに行った場所と食べた物、その感想について、ペアで話す。 S1: I went to the sea. I ate yakisoba. It was delicious. How about you? S2: I went to the department store. I ate pizza. It was great. S1: I see. Thank you. ・ペアを替えて、複数回対話をする。	・指導者はまず、自分が夏休みに行った場所や食べた物などを紹介し、1 人の児童(S1)に How about you? と投げかける。S1 の発話を助ける。これを数名と繰り返し、児童にやり方を理解させるようにする。 T: I went to the sea. I ate ice cream. It was delicious. How about you? S1: I went to the amusement park. I ate a hamburger. It was good. T: That's nice. Now, let's talk in pairs. I went to~. I ate~. It was~. を使って、夏休みに行った場所と食べた物、その感想を言ったり聞いたりすることができる。(行動観察)	

5 分	<p>○Let's Read and Write 書く文例：I ate (pizza). It was (delicious). ・音声を聞いて繰り返し読んだ[言った]後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the words in your textbook. Listen to the sentence again and read it. Copy one word from the wordbox.</p>	デジタル教材、ワークシート
5 分	<p>○Sounds and Letters ・ジングルを一通り聞く。 ・誌面にある r で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの 4 線上に r の文字を書く。</p>	<p>・（時間に余裕があれば）ジングルを一通り聞かせる。 T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures in the textbook. Repeat after the jingle. ・サウンド・テニスをすることを告げる。 T: Let's play 'Sound Tennis.' Think any words starting with /r/. Now, say the words within five seconds. ・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしていくなどするとよい。 ・ワークシートの 4 線上に r の文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter with the sound /r/.</p>	デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート
5 分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

第 6 学年 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 5/8 時間

目 標 ・夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりする。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート、絵カード、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価(方法)	準備物												
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。													
9 分	○Small Talk 話題: 夏休みの思い出 (行った場所・食べた物・感想) S1: I went to Okinawa. I ate <i>mimiga!</i> It was OK. S2: <i>Mimiga?</i> S1: Pig's ear. S2: Pig's ear!? S1: Yes. How about you? S2: I went to Yokohama. I ate <i>shumal</i> It was delicious. S1: It was delicious. That's nice.	※Small Talk の指導の具体や発話例については、「授業研究の視点⑤ Small Talk(p. 81-82)」参照 ※左記の話題にした理由：前時の復習のため													
7 分	【Let's Watch and Think】「何をしたのかな」 ・映像資料を視聴し、登場する人たちが夏休みにどこへ行き、何をしたかを理解する。 <table border="1" data-bbox="240 1173 691 1379"> <thead> <tr> <th></th> <th>したこと</th> <th>感想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tricia</td> <td>野球の試合を見た</td> <td>わくわくした</td> </tr> <tr> <td>Craig</td> <td>ハイキングをした、</td> <td>よかった</td> </tr> <tr> <td>Ken</td> <td>川へ行った</td> <td>魚がおいしかった</td> </tr> </tbody> </table>		したこと	感想	Tricia	野球の試合を見た	わくわくした	Craig	ハイキングをした、	よかった	Ken	川へ行った	魚がおいしかった	T: Let's watch and listen to the conversations. ※Did you ~? など未習語も一部含まれるが、ここでは、やり取りの様子を聞かせることを優先させている。未習語は、聞き取る情報(したこと、感想)をつかませる上で支障がない。 Tricia: Hi Craig. You look happy. Did you have a good time during summer vacation? Creg: Yes. I went to the White Mountains. I enjoyed hiking with my family. It was great. How about you? How was your summer? Tricia: I went to the baseball stadium. I enjoyed a baseball game. It was very exciting. Yoko: Hi Ken. How was your vacation? Did you enjoy it? Ken: Well, we went to the river.but it rained every day. Yoko: Oh, that's too bad. Ken: But I enjoyed food there. The fish was specially fresh and good. ※ Did you~? など未習語も含むが、ここでは、やり取りの様子を聞かせることを優先させている。未習語は、聞き取る情報(したこと、感想)をつかませる上で支障がない。	デジタル教材
	したこと	感想													
Tricia	野球の試合を見た	わくわくした													
Craig	ハイキングをした、	よかった													
Ken	川へ行った	魚がおいしかった													

10 分	<p>○Let's Play マッチング・ゲーム</p> <p>S1: I enjoyed [hiking / camping/ swimming/shopping/fishing/ playing baseball].</p> <p>S2: It was [fun/exciting/ interesting/cool/great/ delicious/wonderful/ beautiful].</p>	<p>T: Let's play the 'Matching Game'. One Volunteer, please. (前に出た児童に感想カードを渡す。指導者は場 所や食べ物の絵カードを持つ。) Choose one card. Don't show me it. I'm going to take one card. Look! My card is "I ate <i>sushi</i>." What's your card? (児童が答 える) "It was beautiful." Oh, they don't match. ... Now, it's your turn.</p>	絵カード
<p><活動の手順></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、一人が場所や食べ物、動作の絵カードを持つ。もう一人が感想を表す形容詞の絵カ ードを持つ。 ・相手に見えないように 1 枚ずつカードを選び、発話する。“I enjoyed hiking.” “It was exciting.” の ように意味が合えば、マッチしたものとしてカードをよける。A: I enjoyed hiking. B: I twas delicious. のように意味が合わない組み合わせの場合は、カードを元に戻す。 ・時間内にたくさんマッチさせることができたペアの勝ち。 			
8 分	<p>○Let's Play</p> <p>・夏休みに行った場所とそこでしたこと、 その感想についてペアで話す。</p> <p>S1: I went to the mountain. I enjoyed hiking. It was nice. How about you?</p> <p>S2: I went to the sea. I enjoyed fishing. It was exciting.</p> <p>S1: I see. Thank you.</p> <p>・ペアを替えて、複数回対話をする。</p>	<p>T: I went to the sea. I enjoyed eating ice cream. It was delicious. How about you?</p> <p>S1: ...</p> <p>T: That's nice. Now, let's talk in pairs.</p> <p>◎I went to~. I enjoyed~. I t was~. を使って、夏休みに楽 しんだこととその感想を言ったり聞いたりすることができ る。〈行動観察〉</p>	
5 分	<p>○Let's Read and Write</p> <p>書く文章: I enjoyed (fishing). It was (exciting).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ (言った) 後、 ワードボックスから言葉を選んで書き写 す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the words in your textbook. Listen to the sentence again and read it. Copy one word from the wordbox</p>	デジタル 教材、 ワークシ ート
5 分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカー ドに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を評価する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカ ード

第 6 学年 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 6/8 時間

- 目 標 ・夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所、楽しんだこと、食べた物、感想が分かる。
・過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べた物、その感想について伝え合う。
- 準 備 デジタル教材、児童用テキスト、絵カード、ワークシート、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価(方法)	準備物
1 分	・ 挨拶をする。	・ 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
4 分	【Let's Chant】Summer Vacation	・ 一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
10 分	【Let's Listen 3】 ・ 英語の音声を聞き、登場人物が夏休みの思い出について話しているのを聞いて、どこへ行ったかを考えて、誌面の絵から選ぶ。	・ 登場人物 4 が、ある場所に行ったこと、その感想を話し、最後に Guess where I went. クイズを出している英語の音声を聞かせる。 (クイズが出された時、画面には山、ショッピング・モール、川、遊園地、祭り、古い町並み、プールのイラストや写真が表示されている) T: Let's listen to the talk.	デジタル教材
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> デジタル教材の英語 A: I went to xxx. It was beautiful. I enjoyed camping. It was fun. I ate curry and rice. It was delicious. B: I went to xxx. It was wonderful. I enjoyed shopping. It was fun. I ate pizza. It was great. C: I went to xxx. It was beautiful. I enjoyed fishing. It was exciting. I ate shaved ice. It was cool. D: I went to xxx. It was great. I enjoyed riding a roller coaster. It was exciting. I ate a hamburger. It was delicious. </div> <p>◎ 夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所やしたことなどが分かり、内容に合う絵を選ぶことができる。〈行動観察〉</p>	
10 分	○Let's Play カード・デスティニー・ゲーム ・ ペア対抗でカード・デスティニー・ゲームをする	T: Let's play the 'Card Destiny Game.'	絵カード
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 〈活動の手順〉 ・ ペア対抗で行う。 ・ 動作・食べ物・感想絵カード(単語付)を分けて持ち、それぞれ机の上に並べる。 ・ 指導者が I went to(施設・場所名)。と言うのを聞いて、それに関連する絵カードがある方が、その絵カードを出しながら、後に文を続ける。①動作、②感想、③食べ物、④感想の順。 ・ 早く絵カードがなくなったペアが勝ち。 </div>		
	T: I went to ~. S1: I enjoyed ~. It was ~. I ate ~. It was ~.		

10 分	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みの思い出に関して、「行った場所」「楽しんだこと」「食べた物」「感想」のいずれかについて、誌面を参考にしてペアで話す。 <p>S1: I went to the department store. I enjoyed shopping. It was wonderful.</p> <p>S2: That's good. I went to the mountain. It was beautiful.</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで対話していない人と対話する。 ペアを替えて、複数回対話をする。 	<p>T: Please talk about your summer vacation with your partner. You can talk about the place you went to, the food you ate, the things you enjoyed.</p> <p>◎I enjoyed -ing. や I ate~. などを使って、夏休みに楽しんだことや食べた物について伝え合っている。〈行動観察〉</p>	
5 分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> シングルを一通り聞く。 誌面にある s で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ワークシートの 4 線上に s の文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> (時間に余裕があれば) シングルを一通り聞かせる。 <p>T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures in your textbook. Repeat after the jingle.</p> <ul style="list-style-type: none"> サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play 'Sound Tennis.' Think any words starting with /s/. Now, say the words within five seconds. <ul style="list-style-type: none"> まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしていくなどするとよい。 ワークシートの 4 線上に s の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letter with the sound /s/.</p> </p>	デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート
5 分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を評価する。 挨拶をする。 	振り返りカード

<p>第 6 学年 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 7/8 時間</p> <p>目 標 ・夏休みの思い出について書かれた文を推測して読んだり、他者に配慮しながら夏休みの思い出について伝え合おうとしたりする。</p> <p>準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート、振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価(方法)	準備物
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
9 分	○Small Talk 話題:週末の思い出 (行った場所・楽しんだこと・感想) S1: I went to the shopping mall. I enjoyed watching a movie! It was fun. S2: That's nice. What movie? S1: Godzilla! How about you? S2: I went to Higashi Elementary School. I enjoyed baseball. It was OK.	※ Small Talk の指導の具体や発話例については、「授業研究の視点⑤Small Talk (p.84-85)」参照 ※ 左記の話題にした理由 (1) 前時の復習のため。 (2) 話題を「夏休みの思い出」から「週末の思い出」とし、似た話題について繰り返し対話することで過去形の表現の仕方が十分に分かり、聞いたり言ったりできるようにするため。	
10 分	【Let's Read and Watch】 ・夏休みの思い出について書かれた英文を読む。その後、その英文が話されている映像資料を視聴して内容を確認する。 ・映像資料の音声に合わせて、英文を読む。その後、映像資料の音声を消して、映像資料の英文を再度読む。	T: Let's listen to the talk. デジタル教材の英語 I went to the sea. I ate fresh fish. I enjoyed swimming. It was fun. 夏休みの思い出について書かれた英文を読んで内容を理解し、その英文を書いた人物を選んでいる。(記述観察)	デジタル教材
5 分	○Let's Read and Write ・夏休みの思い出について、行った場所、食べた物、したことなど、前時までワークシートに書き写した文を読む。	T: Look at your worksheet. Let's read the sentences you wrote. 誌面に書かれている文例 I went to the sea. It was fun. I went to the park. It was nice. I ate pizza. It was delicious. I enjoyed fishing. It was exciting.	ワークシート
15 分	【Activity】 ・来年の夏休みに一緒に過ごしてくれる仲間を増やす。 ・ペアで夏休みの思い出について伝え合う。相手を替えて繰り返す。	◎I went to~. I ate~. I enjoyed -ing. It was~. などを使って、夏休みの思い出について伝え合おうとしている。(行動観察)	
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

第 6 学年 Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 8/8 時間

目 標 ・自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書こうとする。

準 備 デジタル教材、思い出アルバム用清書シート、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価(方法)	準備物
1 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
14 分	○Let's Read and Write ・夏休みの思い出について、前時までに書き写した文を参考に、行った場所、食べた物、楽しんだこと、感想を、思い出アルバム用シートに清書する。	・書き終わったら回収して、『6 年 X 組夏休みの思い出アルバム』にし、後日全員に配布する。回収したシートは、教室掲示として使うこともできる。 ◎ 夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考にしながら書こうとしている。(行動観察・記述観察)	思い出アルバム用清書シート
15 分	○Activity ・指導者が読む思い出アルバム用シートを見て、それが誰かを考えて発表する。 ・ペアで自分たち以外の誰かが書いた夏休みの思い出を推測しながら読み、誰が書いたものかを考えて発表する。	・児童が前活動で書いたアルバム用シートから 2 つほど選んで、それを児童に見せながら読む。それが誰のものかを尋ねる。 ・ペアに、そのペアの児童のものではないアルバム用シートを配り、ペアで推測しながら読んでみるように言う。それが誰のものかを考えて発表させる。 ・読みにくそうな児童のそばに行き、一緒に読んだり、絵やイラストを指したりしながら読むことを支援する。	思い出アルバム用清書シート
10 分	【Story Time】 ・ここで取り扱うライムは-ish。 ・デジタル教材でライムの単語とそれらが含まれる文を 2 ～ 3 回聞く。 ・音声の後について言う。 ・ライムしている単語だけを読み出す。	・本ユニットで学習した表現が含まれている文を読むようにし、ライムを通して子音の復習と母音への気付きを高める。 T: Listen to the rhyme and repeat. Then repeat the rhyming words. デジタル教材の音声 My family went to the sea this summer. I saw some seashells, star fish, and jelly fish. We had a nice dish of fish. It was delicious. A nice, delicious dish of fish.	デジタル教材
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード